

承認番号	3773
研究課題名	直接作用型抗慢性C型肝炎治療薬にてウイルス除去が得られた患者の生活習慣についてのコホート研究
研究の意義・目的	近年、直接作用型慢性C型肝炎治療薬によって90%以上の患者でウイルスの除去（SVR）が達成されるようになり、多くの患者で肝障害・線維化の改善が見込めるようになりました。しかし、一部の患者では、肝障害・線維化の改善が十分でない場合があり、改善されにくい患者の特性については解明されていません。また、ウイルス除去後の方のうち、どのような特性のある方が、肝癌を発症しやすいのかについても、未だ解明されていません。そこで本研究では、慢性C型肝炎ウイルス除去を達成された方を対象に、肝疾患進展・発癌に関連する生活習慣要因を検討します。
研究期間	倫理審査承認後～2022年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2012年1月1日～2019年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、慢性C型肝炎の抗ウイルス薬による内服治療を受けられた（受けられる）患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	通常診療に伴う血液検査データ、超音波検査データ、診療記録 2015年より施行している「C型肝炎に対する抗ウイルス治療後の予後に関する生活習慣の調査」で記入して戴いたアンケート調査表も一部今回使用させて戴く場合があります。
利用者の範囲	<input type="checkbox"/> 自施設のみ
研究機関の情報	
代表施設のURL	
試料・情報を公表する方法	匿名化し、医学学会・医学雑誌などにおいて調査結果を発表する予定です。
試料・情報の提供方法	
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 准教授 大藤さとこ
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	電話対応（電話番号：06-6645-3756 ） 所属 名：公衆衛生学教室 担当者名：大藤さとこ、松浦知香